

令和4年度第3回学校運営協議会長情報交換会 議事録

日 時 令和5年2月13日（月）9時30分～11時45分

場 所 二宮町役場第1会議室

出席者 出席 13名

- ・二宮小学校 大矢学校運営協議会長、北川校長
- ・一色小学校 小野寺学校運営協議会長、橋本地域学校協働活動推進員、中西校長
- ・山西小学校 宮戸学校運営協議会長、山中地域学校協働活動推進員、藤田校長
- ・二宮中学校 加山学校運営協議会長、石井地域学校協働活動推進員、伊庭校長
- ・二宮西中学校 泉学校運営協議会長・地域学校協働活動推進員、和田校長

欠席 1名

- ・二宮小学校 山内地域学校協働活動推進員

町 7名

- ・教育長、教育部長
- ・教育総務課
下條課長、田中課長代理（指導主事）、安藤指導班長（指導主事）、高橋主任主事
- ・生涯学習課
竹本課長代理

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和5年度の取組内容について
- ・資料2 各校の取組状況（地域人材）について
- ・資料3 各校の取組状況（ニーズ把握）について
- ・資料4 地域学校協働活動に関するアンケート集計
- ・参考資料1 令和4年度 第2回学校運営協議会長情報交換会 議事録

議事録

1 開会	
2 教育長挨拶	
・今後、この情報交換会が小中一貫にのみや学園の学校運営協議会として機能していくことを、前回の会で承認いただいた。 ・小中一貫にのみや学園のリーフレットがもうすぐ出来上がる。各学校での学校運営協議会、PTA 総会等で、にのみや学園について説明をしていく予定。	
3 令和5年度の取組内容	
事務局	資料1 ・来年度以降、この会をにのみや学園の学校運営協議会としての情報共有の場としていく。 ・来年度、他校の学校運営協議会に、オブザーバーとして参加可能。→希望があれば、事

	務局まで事前に連絡をお願いしたい。
二宮小	・にのみや学園が始まるにあたり、2グループ（二宮中学校グループ、二宮西中学校グループ）に分かれて集まる会が必要ではないか。 ・各学校にどのような委員がいるのか、どんな活動をしているのか知りたい。 ・最初に教育委員会が主導して、会を開くのが良いのではないか。
事務局	・グループごとの会を作るのが良いか。まずは、参加したい他校の学校運営協議会に参加するのが良いか、皆さんはどちらがよろしいか。
二宮小	・参加したい会に参加するのは、今後のために良いこと。 ・グループごとに集まるのもよいが、例えば年に1回ぐらい5校全員が集まる機会を持つのはどうか。 ・まずは、顔合わせを行うのが良いのでは良いか。
一色小	・5校みんなで集まるのが良いのではないか。研修の意味を含めてやるのがよいのではないか。
二宮小	・グループに分かれてやることで、顔と名前も一致して良いのではないか。 ・5校で50人集まるのは多い気がする。だから、顔と対話がしやすい、2グループが良いのではないか。
教育長	・各学校のグループ長を中学校長が務めるので、音頭をとっていただいて、集まるのはどうか。
事務局	・来年度の各学校の第1回目の学校運営協議会で、まずはグループで集まり顔合わせをするという提案してもらい、参加しやすい日程の目安等を事務局に教えてもらうのが良いのではないか。
二宮小	・グループごとに実施して、仲間意識を強める会にできるとよい。
4 地域人材及び学校ニーズの把握方法	
事務局	資料2、資料3 ・人づてやチラシの作成などをして、人材を集めている。 ・ニーズ把握については、多くが個々のヒアリングをして、ニーズを把握しているのが現状。 ・ニーズも大小さまざまある。ニーズと人材のマッチングがポイントになる。後ほど、各学校の取組の工夫などを伺いたい。
事務局	資料4 ・社会教育委員会議で、コミュニティ・スクールについての研究も行っている。その一環として、アンケートを行った。
事務局	・地域人材について活用状況や各校の取組をお聞きしたい。 ・資料については、個人情報もあるので名前は載せていないが、必要に応じて情報共有していただきたい。
二宮小	・人材については、学区内の回覧板で募集を行った。学区の掲示板にも、募集のチラシを掲示した。 ・不特定多数に来てもらうのも少し心配な面もある。顔がわかる関係の人が望ましい面も

	ある。
一色小	・最初は、口コミ、人づてで行った。 ・その後、学校のニーズの把握と、人材の掘り起こしは、同時並行で行ってきている。今回、募集のチラシを作り、広く募集してみる予定。 ・ニーズと人材のバランスが取れていないと、コーディネーターが大変になる。 ・学校、担当ともにニーズや、どのようなときに地域人材を活用できそうかということが、わかってきた。
山西小	・学校から学習支援のニーズを聞き、それを受け人材を探した。初めは、山西小学区で探していたが、段々、役場関係などにも声をかけさせてもらい、人材の掘り起こしをしてきた。
二宮中	・学習相談については継続的にお願いしている。新規で増やしていくことも課題だが、適する人材を探すことも課題。 ・行事の手伝いでは、受付などを行った。 ・中学校の先生方は非常に忙しい。そこに入っていくこと、話しかけ情報を得ることにも難しさがあるが、徐々に人材発掘を進めている。
二宮西中	・保護者向けにチラシを配り、募集をした。返信があったのは、数件だった。個人的なつながりが大切だと思う。 ・PTA については来年度組織体制が変わるので、学校のニーズを把握しながら、学校活動や地域活動に対するボランティア等を募集していきたい。 ・先ほどの資料を見ても、先生方の負担が増えてしまうことは避けていきたい。地域と子どもとのつながりを作ってもいいきたいが、先生方に負担なく実施することが大きな課題だと考えている。 ・一般的に保護者の方は、学校から離れていってしまっているのが現状なので、負担感なく実施する方策を考えたい。PTA だと自身の子どもが卒業すると関係が途切れてしまうが、実際は地域としてのつながりはあるので、そういったつながりを上手く活用し、持続可能な関係性を構築できると良いと考えている。
事務局	・地域と学校における、活動の充実と負担感の除去の両立が課題として捉えている。
事務局	・募集を行い応募してきた人について、うまく活用できているのかどうかの現状を教えてください。
二宮小	・放課後子ども教室において、子どもたちから質問を募集し、それらの質問に答えられるような人材とのマッチングが少しずつ進んできている。 ・手を挙げてくれた地域の方には、できるだけ活躍してもらえよう、子どもの質問内容をわかりやすく地域に伝えるなど工夫している。
二宮西中	・英語が教えられるという地域の方については、コロナ禍もあり実現に結びついていない。 ・この間、山西小学校が実施したキャンプファイヤーなど、良い取り組みだと感じた。
事務局	・先生の負担感のない活動や、学校に入り込むときのコツ、ニーズの把握方法のコツなどがあれば伺いたい。
一色小	・はじめ職員室に入るのも大変だった。まずは、時間帯を探った。休み時間は先生たちは

	忙しいことが分かった。放課後が無難だと思った。学校にいるようにすると、先生方から、声をかけてもらうことも増えてきた。 ・打ちは、やっても1回程度。会うたびに、隙間時間で先生方と小さなコミュニケーションを重ねて実施に向けて準備を行っている。
二宮小	・放課後子ども教室を、人数が多いので学年で分けてやっている。その際に、子どもたちにアンケートを取っている。アンケートを取ることで、子どもがどんなことを知りたいのか、どんな分野について、興味があるのかを把握するようにしている。
一色小	・職員室にわくわくポストを設置したり、管理職の先生としっかり時間をとってもらったりもしている。
二宮中	・最近意識しているのは、あまり、ことを急がないようにしている。例えば、放課後の学習相談でも、人数が少なくても、継続的に実施することで、少しずつ充実していくと考えている。時間をかけて、少しずつ進め、小さな成果を大切にしていける視点が大切だと考えている。
山西小	・先生方の負担をとてにも気にしていた。今回のアンケートは、とても参考になった。やっぱり負担に感じている人もいるので、丁寧に取り組みを進めていきたい。 ・学校側にも、ニーズの取りまとめ役の人を置くというアイデアも聞いたことがある。 ・私としては、学校の役に立ちたいという思いがあるので、少しずつでも良い方法を探していきたい。
5 情報交換	
二宮西中	・来年度に向けて、来月の学校運営協議会に、来年度の計画を提案していきたい。 ・夏祭りを来年夏に学校のグラウンドで実施していきたい。 ・3年生が二宮町への提言活動を実施した。町役場の協力も得られている。 ・今回のアンケートによって、個々の先生方のニーズを把握することができた。
二宮中	・12月21日に防災講演会を実施した。井上様に来ていただいた。開催後に実施したアンケートも好評だった。 ・3月4日はらっぱマルシェに生徒たちが参加する予定。1月中旬に周知をし、ルールなどを決めるための実行委員も募集している。 ・今回の先生方へのアンケートは、とても参考になった。先生方のニーズの多くが、清掃や見守りにあることがよくわかった。 ・各学校運営協議会同士の情報共有については、中学校同士でもやってみるのも良いのではないか。イメージは、例えば、この会の後に、10分、15分で細かい情報共有ができるとよいと思う。 ・学習相談を現在実施している。かなり定着していて、毎回20名前後の子どもが参加している。これまで、各教室でやっていたものを一カ所に集める（生徒、地域の方、教員）ことで、良い雰囲気で行っている。 ・地域でどのような子どもたちを育てていくかというビジョンの共有が大切だと思う。他の学校とも共有し、まずは、そのビジョンがあつてのボランティアの募集等ができると思う。

山西小	・保護者の旗振り当番が課題となっている。中里などの大きな地区は良いが、小さな地区の負担感が問題となっている。地域の方とのマッチングなども模索している。年度当初には、地域の方の協力状況の把握なども行った。 ・PTA のニーズも把握していく必要があると思う。 ・学習のサポートについて、本当に地域の方に協力していただいて感謝している。 ・地域の方とつながるということのイメージを持つことも大切だと思う。最近、子どもも保護者も人間関係が希薄になってきていると感じている。
事務局	・学校が地域に開かれることと、地域が学校に入り込むこと、そして、先生と地域が気軽に協力しあうことができるのが、イメージの一つだと思う。
一色小	・総合的な学習の時間（3年生）で二宮町をテーマに学習している。吾妻山について学習しているが、今度、吾妻山に行くときに引率のサポートを募集している。 ・4年生で福祉について学んでいる。町の福祉ともつなげて実施している。 ・一色スマイルネットについても継続している。 ・友情の山について、県の取組に応募して通ったので、来年度、取り組んでいきたい。 ・先生方にもニーズを出すのが得意な人と、そうでない人がいる。 ・教材の作成補助も最近取り組んでいる。 ・子どもが立ったまま学習するのが落ち着く子もいる。そのために、立ちテーブルを地域の方に作っていただいた。 ・一色スマイルアート展について。地域の方でいろいろな得意分野をお持ちの方がいるので、地域の方の作品をメインとした展示をし、子どもたちがアートに触れられるような企画を実施する予定。地域の方々にも公開できるような方向で考えている。 ・アンケートの結果を見ると、先生方の捉えも様々だということが分かった。 ・コミュニティ・スクールの舞台は学校内だけではないと思う。例えば、子ども食堂や、東大跡地のプレイパークなどのような居場所づくりも進めている。地域にもいろいろな居場所を作っていきたい。 ・保護者、地域の方、それぞれにおいて、子どもとの関わり、地域との関わりについて、意識、認識、イメージの違いがある。そのすり合わせを行っていくことも必要だと考えている。 ・子どもたちのために色々と取り組んでくれている地域の方がいる。 ・学校としては、ニーズを作る、出せる教員の育成も必要だと感じている。子どものためになるから協働する、または、地域の方が学校の間を使って、活躍してもらおう視点もあると思う。 ・総合的な学習の時間の取り組みについては、小中一貫のワーキンググループでも取組内容や、地域の人材、財産も共有できたらと思う。
二宮小	・学校運営協議会の課題は、高齢化も一つあり、世代交代していく必要もある。来年 150 周年記念事業が終われば、世代交代をしていきたいと考えている。 ・先日、施設一体型小中一貫教育研究会で品川学園という義務教育学校に視察に行った。建物も工夫されていたが、品川コミュニティ・スクールというものを作っている。学校運

	営協議会と地域の活動を包含して、品川はやっている。社会教育と学校教育の2本柱という考えではなく、両方含めてコミュニティ・スクールという考えもあることを知った。今後のコミュニティ・スクールの在り方についての勉強会もできたらと思う。 ・学校の課題としては、教員の地域との関わりを持つためのスキルの育成があると考えている。 ・PTAの在り方、PTAとCSの連携も、課題と捉えている。
教育長	・子どもたちを地域で育てるという視点や、子どもたちが地域とのつながりをもつ場所が数多くあることなども、今後も教育委員会としての役割の一つと考えている。 ・PTAの在り方についても、学校運営協議会と連携しながら、保護者の実態を踏まえて考えていくことができればと考えている。 ・二宮町全体で子どもたちを支える、子どもたちも地域で活躍できる場をつくる、そのために、今後も皆さんで協議していきたい。
事務局	・議事録の確認にご協力をお願いします。
6 閉会	